

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月13日

計画の名称	高槻市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高槻市												
計画の目標	大規模地震等に備え、第二次スクリーニング計画の作成等を行うことにより、市民の防災意識を高め、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	23	A	23	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2年度）	（R4年度）	（R6年度）
1	市内の大規模盛土造成地（279箇所）に対して、第二次スクリーニングを実施する優先度の評価を行う。 第二次スクリーニング実現に向けた優先度の評価を行う。	30%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	高槻市	直接	高槻市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 作成	高槻市						23		-	
												小計						23		
												合計						23		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高槻市社会資本総合整備計画評価委員会において実施	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 高槻市のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市内における大規模盛土造成地の位置を把握し公表することにより、地域住民の身近に盛土造成地が存在することを周知し、市民の防災意識向上に寄与している。 第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画（優先度評価）を策定した。その結果、滑動崩落防止工事が緊急に必要となる盛土はないことが判明した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き国土交通省が公表した「大規模盛土造成地の経過観察マニュアル」に基づく経過観察を実施していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%